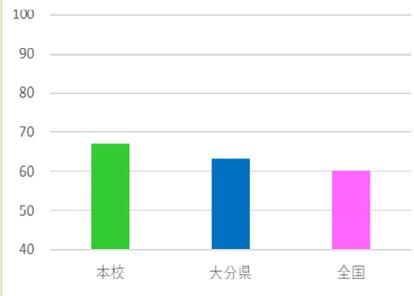
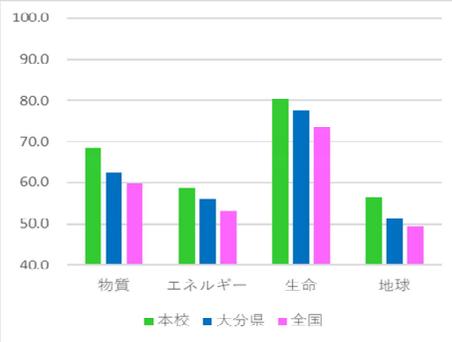


### 【理科】

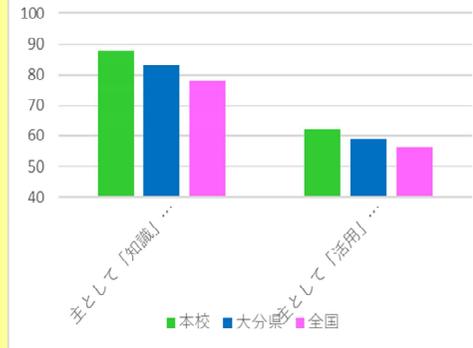
正答率	本校	大分県	全国
理科	67.0	63.0	60.3



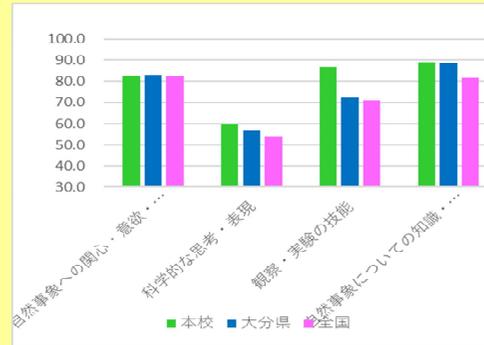
	本校	大分県	全国
物質	68.5	62.4	59.8
エネルギー	58.7	55.8	53.1
生命	80.4	77.6	73.6
地球	56.5	51.2	49.5



	本校	大分県	全国
知識に関する問題	88.0	83.0	78.0
活用に関する問題	62.0	59.0	56.2



	本校	大分県	全国
自然事象への関心・尊敬・態度	82.6	82.9	82.1
科学的な思考・表現	60.1	56.6	54.1
観察・実験の技能	87.0	72.3	71.1
自然事象についての知識・理解	89.1	88.7	81.5



### 【分析】

- 理科全体の正答率は、県・全国の平均正答率を上回っている。
- 「知識に関する問題」「活用に関する問題」ともに県・全国の平均正答率を上回っている。
- 指導要領の区分においても、また、観点別正答率においてもすべての項目で県・全国の平均正答率を上回っている。

### 【改善方法】

#### <生命・地球>

- 予想が確かめられた場合に得られる結果の見通しをもって実験を構想する。
  - ・実験を構想する際に、「どのような予想を確かめたい実験なのか」を明確にし、実験方法の妥当性や得られる結果の見通しなどを児童同士で検討する場面を設定したり、その内容を発表したりするなどの学習活動を取り入れる。
  - ・自分の考えと異なる他の人の予想に対して結果の見通しを持ち、よりよい実験方法について話し合うことができるようにする。

#### <物質・エネルギー>

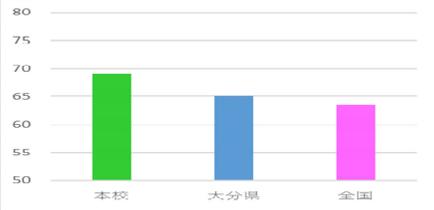
- 学んだことを基にもものづくりへの適用ができるようにする。
  - ・ものづくりの目的をもち、既習事項や自分の持っている知識をどのように活用するかを明確にする。
  - ・作ったものが目的に合うものか確認し、目的に合うように改善できるようにするために、目的の確認、不具合の確認、どのように修正するかなどを明確にして取り組ませる。また、プログラミングを通してこれらの過程を身に付けさせる。

#### <全般>

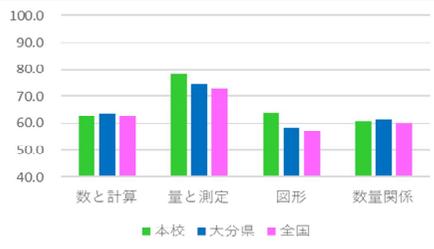
- ・自然に目を向け、様々な事象に興味をもつよう日常の活動の中でつなげていく。

【算数A 主として「知識」に関する問題】

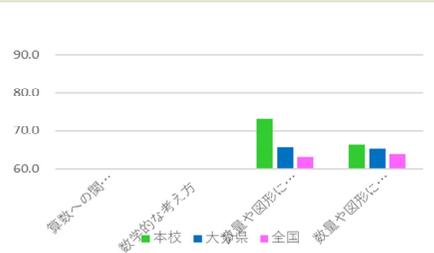
正答率	本校	大分県	全国
算数A	69.0	65.0	63.5



領域別正答率	本校	大分県	全国
数と計算	62.6	63.6	62.3
量と測定	78.3	74.8	72.7
図形	63.8	58.4	56.9
数量関係	60.9	61.2	60.1

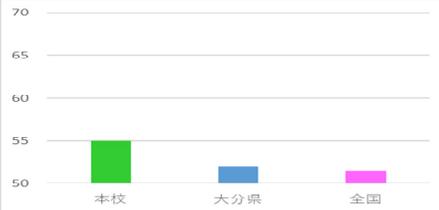


観点別正答率	本校	大分県	全国
算数への関心・意欲・態度			
数学的な考え方			
数量や図形についての技能	73.0	65.7	63.0
数量や図形についての知識・理解	66.2	65.1	63.8

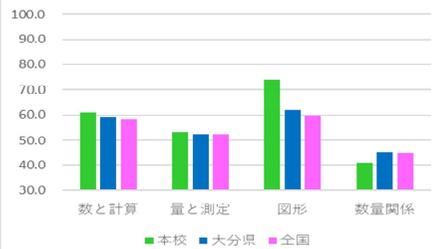


【算数B 主として「活用」に関する問題】

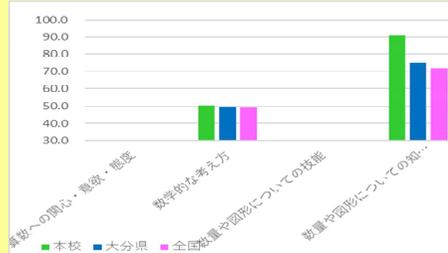
正答率	本校	大分県	全国
算数B	55.0	52.0	51.5



領域別正答率	本校	大分県	全国
数と計算	60.9	59.2	58.4
量と測定	53.3	52.3	52.4
図形	73.9	61.7	59.9
数量関係	40.9	45.6	45.1



観点別正答率	本校	大分県	全国
算数への関心・意欲・態度			
数学的な考え方	50.7	49.8	49.2
数量や図形についての技能			
数量や図形についての知識・理解	91.3	75.1	71.7



【分析】

- A問題(知識)B問題(活用)ともに、全国平均正答率を上回っている。
- A問題では、領域別、観点別全て全国平均正答率を上回っている。
- B問題では、観点別はすべて全国平均正答率を上回っている。
- A問題では、「数と計算」「数量関係」が、県平均をわずかに下回っている。
- B問題では、「数量関係」の領域が全国平均正答率を下回っている。

【改善】

<数と計算>

- ・朝の計算タイムやスキルタイムの中で、既習事項の習得を徹底する。
- ・式の意味や表し方を言葉で説明する活動を取り入れ、筋道を立てて考えたり、図等を使ってわかりやすく説明する力をつける。

<数量関係>

- ・日常の事象と学習してきた内容を結びつける場を取り入れ、数や量を表す意味について触れる機会を多くする。
- ・ペア・グループ活動で他の意見をもとに自分の考えをまとめ表現する活動を取り入れることで問題場面における数量の関係を帰納的に考え、見出した数量の関係を式を使って表現する力をつける。

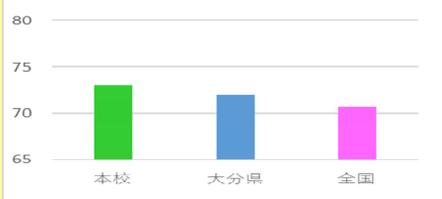
<全般>

- ・算数に限らず、普段の授業で自分の考えをまとめさせたり、伝えたりする活動を大切にする。さらに、問題や相手の考えをしっかりと理解したうえで、話し合い、自分の考えを深めるところまで高めたい。
- ・多くの情報の中から必要な情報を取り出したり、その数字をもとに類推したりする力が必要である。そのためにICT機器等を活用し、授業の中で必要な情報だけを選びとる活動を行い力をつける。
- ・いろいろなテストの形式や内容に慣れさせる必要がある。長文を読むことで問題を解く経験を適宜取り入れる。
- 各学年でつけなければならない力をきちんとつける。

※全国及び県の平均正答率は、文部科学省が公表した数値を記載

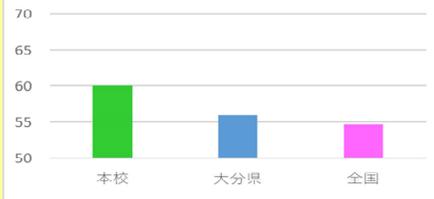
【国語A 主として「知識」に関する問題】

正答率	本校	大分県	全国
国語A	73.0	72.0	70.7

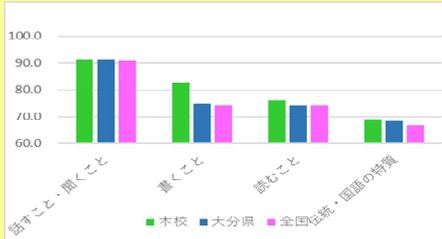


【国語B 主として「活用」に関する問題】

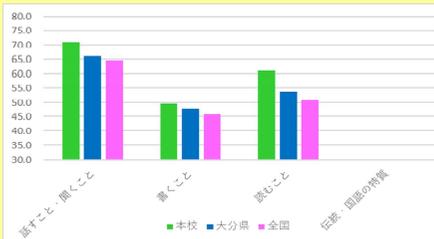
正答率	本校	大分県	全国
国語B	60.0	56.0	54.7



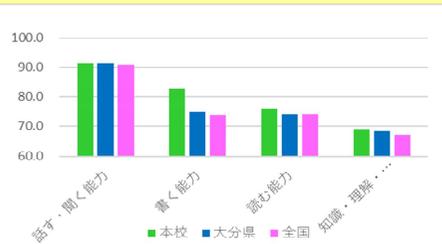
領域別正答率	本校	大分県	全国
話すこと・聞くこと	91.3	91.4	90.8
書くこと	82.6	74.8	73.8
読むこと	76.1	74.0	74.0
伝統・国語の特質	69.0	68.3	67.0



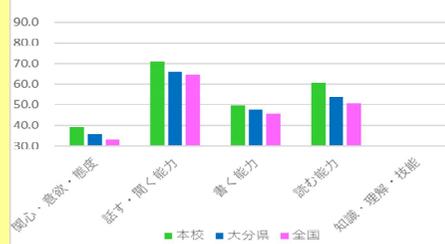
領域別正答率	本校	大分県	全国
話すこと・聞くこと	71.0	65.9	64.6
書くこと	49.6	47.6	45.6
読むこと	60.9	53.6	50.8
伝統・国語の特質			



観点別正答率	本校	大分県	全国
関心・意欲・態度			
話す・聞く能力	91.3	91.4	90.8
書く能力	82.6	74.8	73.8
読む能力	76.1	74.0	74.0
知識・理解・技能	69.0	68.3	67.0



観点別正答率	本校	大分県	全国
関心・意欲・態度	39.1	35.8	33.2
話す・聞く能力	71.0	65.9	64.6
書く能力	49.6	47.6	45.6
読む能力	60.9	53.6	50.8
知識・理解・技能			



【分析結果】

- A問題(知識)、B問題(活用)ともに全国平均正答率を上回っている。
- A問題(知識)、B問題(活用)ともに、領域別、観点別全て全国平均正答率を上回っている。
- 無回答率が少ない。
- 情景から心情を読み取る問題で、「目的に応じた読み取り」に課題がある。
- 「書くこと」については、全国平均を上回っているが、他者との意見の同意、違いは分かるが、自分の考えをまとめて書くことに課題がある。

【改善方法】

<話すこと・聞くこと>

- 相手や目的に応じて説明の仕方を工夫する指導を行う。
  - ・目的を明確にし、話す相手の様々な場面を想定し話をしたり、聞いたりする機会を多く持つ。
  - ・発表の練習場面で録画してそれを見直し修正するなど、ICT機器等を積極的に活用し、主体的に活動できる工夫をする。
  - ・日常の委員会活動での発表や朝の会のスピーチ等で、授業で学習したことをつなぐ取組を行う。

<読むこと>

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にしなが読む指導を行う。
  - ・単元の学習の目的を明確にし、目的に応じた読を進める活動を授業の中に取り入れる。
  - ・ペア・グループ活動を取り入れ、自分の考えと相手の考えを比べながら読みを深めていく活動を取り入れる。
  - ・目的に応じて教材文以外の複数の本を読む活動を取り入れる。

<全般>

- ・日記や掲示物等様々な学校生活の中で漢字を正確に使う習慣をつける。
- ・朝読書、読書指導を通じて「速く・長く読む力」をつける。

※全国及び県の平均正答率は、文部科学省が公表した数値を記載 ※「伝統・国語の特質」は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」